



Chitose Institute of Science and Technology

# 公立千歳科学技術大学報

PUBLICITY PAPERS

2022 11/1

Volume

# 56

稜輝祭(大学祭)が  
開催されました

P2 トピックス  
第22回稜輝祭

P3 学生活動

P4 教育連携・研究支援

P6 卒業生インタビュー

P7 入試情報



## 第22回稜輝祭(大学祭)が開催されました



YOSAKOIソーラン部による演舞



理工工房の体験イベント



模擬店



軽音楽部のバンド演奏



学生のダンスパフォーマンス



スマブラ大会

2022年10月16日(日)に、3年ぶりとなる稜輝祭(稜輝祭実行委員会主催)が開催されました。今回は、コロナ禍で開催できなかった稜輝祭の再起を図り、より一層輝きを増した大学になるようにとの願いから、「再輝」というテーマで実施されました。

ステージでは、アカペラやダンス、YOSAKOIソーラン演舞、お笑いライブ(出演は「アイデンティティ」、「つちふまズ」、「すずらん」の3組)が行われたほか、部活動・サークルによる模擬店や体験イベント、作品展示、バンド演奏などもあり、盛況のうちに終了しました。

稜輝祭の開催にあたり、多くの皆様にご支援・ご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

# 学 生活動

## 野球部の1部リーグ昇格が 決まりました

本学野球部は、9月26日～10月17日に行われた「2022年度北海道地区大学軟式野球連盟秋季大会(2部リーグ)」で1位の成績を収め、1部リーグへの昇格が決まりました。また、次の学生がタイトルを獲得しました。

### 春季大会

- 盗塁王/澤田 竜登さん(2年)
- 本塁打王/藤原 伸伍さん(4年)、對島 伶さん(3年)  
小泉 孝太さん(2年)

### 秋季大会

- 2部リーグ優秀選手賞/駒井 叶登さん(3年)
- 打点王/藤原 伸伍さん(4年)、駒井 叶登さん(3年)
- 盗塁王/藤原 伸伍さん(4年)
- ベストナイン(投手)/駒井 叶登さん(3年)
- ベストナイン(三塁手)/菫浦 京平さん(3年)
- ベストナイン(二塁手)/藤原 伸伍さん(4年)



## 2022年度学生チャレンジ プログラムの表彰式を行いました

2022年10月16日(日)、2022年度学生チャレンジプログラムの表彰式を行いました。学生チャレンジプログラムは、学生が自主的で自由な発想から企画した、意欲的かつチャレンジ精神溢れるプロジェクト活動を奨励し、資金面などを支援する制度です。

### 【大学生生活貢献部門】

- 採択テーマ:コロナ禍での畑の活用と学生交流
- 申請者:菜園サークル(代表:細川 俊哉さん(理工学部情報システム工学科3年))

### 【情報メディア貢献部門】

- 採択テーマ:授業評価アンケートの集計・分析のシステム化
- 申請者:秋山 健太さん、増田 凌也さん、佐野 麟さん、染谷 銀志さん、  
根本 日菜さん、村口 怜也さん、松山 泰知さん  
(理工学部情報システム工学科3年)



左から佐野 麟さん、染谷 銀志さん(情報メディア貢献部門)、  
宮永理事長・学長、細川 俊哉さん(大学生生活貢献部門)

## 弓道部の学生がインカレ本選に 出場しました

2022年8月12日(金)、日本武道館で開催された「第70回全日本学生弓道選手権大会」に、本学弓道部の別府 凌成さん(理工学部電子光工学科3年)が出場しました。



## 大学院生が受賞しました

大学院生の河本 千宙さん(理工学研究科理工学専攻博士前期課程1年)が、第42回日本骨形態計測学会(6月30日-7月2日)において、「若手研究者賞」を受賞しました。

- 演題:ヒメマスとベニザケ幼魚、  
親魚の生息環境が各骨質、  
骨強度に及ぼす影響
- 演者:河本 千宙1、堀内 秀与1、中村 郁哉1、  
弘中 翔太1、三友 秀之2、居城 邦治2、  
木村-須田 廣美1
- 1 公立千歳科学技術大学大学院理工学研究科  
2 北海道大学電子科学研究所
- 開催地:米子コンベンションセンター、鳥取



左から河本 千宙さん、  
木村 廣美教授

大学院生の中村 郁哉さん(理工学研究科理工学専攻博士後期課程2年)が、第40回日本骨代謝学会学術集会(7月22日、23日)において、「ASBMR(アメリカ骨代謝学会) 2022 Travel Award」及び「ANZBMS(オーストラリア・ニュージーランド骨代謝学会) 2022 Travel Award」の両賞を受賞しました。中村さんは、昨年度も両賞を受賞しています。

- 演題:「慢性腎臓病モデルラット大腿骨におけるテリパラド投与は皮質骨の  
コラーゲン線維配向性を上昇させる」
- 演者:中村 郁哉1、拵谷 朋美1、兼平 裕也1、  
太田 昌博2、高畑 雅彦2、  
木村-須田 廣美1
- 1 公立千歳科学技術大学大学院理工学研究科  
2 北海道大学大学院医学研究科  
整形外科学教室
- 開催地:長良川国際会議場/  
都ホテル岐阜長良川、岐阜



左から中村 郁哉さん、  
木村 廣美教授

## YOSAKOIソーラン部が 第25回みちのくYOSAKOIまつりで 仙台市長賞を受賞しました

2022年10月8日(土)、9日(日)、仙台市で開催された「第25回みちのくYOSAKOIまつり」に本学のYOSAKOIソーラン部「光一天」が出場し、3位となる仙台市長賞を受賞しました。



## CIF22を開催しました

2022年9月30日(金)、本学 B101 講義室において「第22回千歳科学国際フォーラム」(CIF22)を開催しました。昨年度に引き続き、今年度も対面とオンライン(Zoom)のハイブリッド開催となりました。

今回は理工学の幅広い研究分野の専門家による招待講演、一般参加による口頭発表に加え、Zoomのブレイクアウトルーム機能を使った Interactive セッションと、予め撮影された動画を用いた VoD セッションを行いました。道内他大学や高専からも広く投稿を募り、口頭発表6件、Interactive 27件、VoD 22件の発表がありました。

Special plenary セッションでは、世界初のブラックホールの観測で著名な国立天文台 本間 希樹所長をお招きし、「First-Ever Images of Super-Massive Black Holes Obtained by EHT」と題したご講演をいただきました。

### 【CIF22 開催内容】

#### 基調・特別基調・招待講演

- University of the Philippines Diliman  
Professor Henry N. Adorna
- University of the Philippines Diliman  
Professor Jaime D.L. Caro
- 国立天文台水沢 V L B I 観測所  
本間 希樹 所長
- 北海道大学 触媒科学研究所  
福岡 淳 教授
- 北海道大学大学院 情報科学研究院  
日影 隆 准教授
- NTT 先端集積デバイス研究所  
藤井 拓郎 氏



特別基調講演



基調講演



招待講演

## interOpto 2022に出展しました

2022年6月15日(水)~17日(金)の3日間にわたり、東京ビッグサイトで開催された「電子機器2022トータルソリューション展(interOpto 2022)」に出展しました。今回は、応用化学生物学科 堀野研究室の取組や、学生(皆勝 亮汰さん 理工学部応用化学生物学科3年)の研究紹介、2021年度に採択された文部科学省「マテリアル先端リサーチインフラ事業」の紹介展示を行いました。また、共同出展したNPO法人ホトニクスワールドコンソーシアム(PWC)は、戦略的基盤技術高度化支援事業で研究開発した取組等のポスター展示を行いました。

\*PWCは、千歳市及びその周辺地域を始めとする産学官連携による共同研究を推進し、光、ICT、材料などの新産業の創出・育成に関する事業を行い、人材育成や社会貢献、まちづくりに寄与することを目的としたNPO法人です。



## 本学のデータサイエンス教育の取組が、文部科学省が推進する 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(応用基礎レベル)に認定されました

本学のデータサイエンス教育の取組が、文部科学省が推進する数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(応用基礎レベル)に認定されました(認定の有効期限:令和9年3月31日まで)。本学は昨年8月に同制度のリテラシーレベルの認定を受けており、応用基礎レベルはリテラシーレベルの上位に位置づけられるものです。

数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度は、学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、それを適切に理解し活用する基礎的な能力(リテラシーレベル)や、課題を解決するための実践的な能力(応用基礎レベル)を育成することを目的に、数理・データサイエンス・AIに関する知識及び技術について体系的な教育を行う大学等の正規の課程(教育プログラム)を文部科学大臣が認定及び選定して奨励するものです。これにより、数理・データサイエンス・AIに関する基礎的な能力及び実践的な能力を向上する機会が拡大されます。

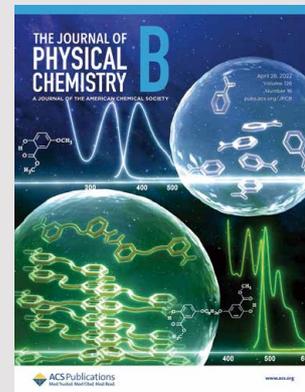


## 坂井准教授の研究論文の成果が アメリカ化学会誌の表紙を飾りました

2022年4月28日発行のThe Journal of Physical Chemistry B Volume126に、理工学部応用化学生物学科 坂井 賢一准教授の研究論文内容をイラスト化したものが、本雑誌の表紙絵(カバーアート)として掲載されました。今回のイラストは、医薬品としても用いられるサリチル酸メチルという分子を炭素鎖で連結すると、規則正しく配列して集合体を形成し、その結果、集合体特有の興味深い光学特性が現れる様子を描いています。

本論文は高橋 未久さん(2022年3月 理工学研究科理工学専攻博士前期課程修了)の研究成果をまとめたもので、以下のURLからご覧いただけます。

(<https://pubs.acs.org/doi/10.1021/acs.jpccb.2c00842>)



## 地域貢献

### 2022年度第1回、第2回公開講座を開催しました

2022年6月18日(土)、10月22日(土)に、2022年度第1回、第2回公立千歳科学技術大学公開講座をオンラインで開催しました。

第1回目は「情報通信の歴史と未来を拓く新技術～シリコンフォトニクス～」と題し、身近にありながら日頃その存在を意識することのない通信技術の歴史と、更なる発展を目指す新技術について、理工学部情報システム工学科の福田 浩教授が講義を行いました。

第2回目は「遷移金属触媒が拓く有機合成」と題し、理工学部応用化学生物学科の堀野 良和教授が講師となり、有機合成化学の根幹をなす遷移金属触媒の重要性と、将来展望について解説しました。どちらも、当日のライブ配信の様子を地域連携センターホームページ上で公開しておりますので、是非ご覧ください。( <https://snc.chitose.ac.jp/> )



第1回公開講座配信の様子



第2回公開講座配信の様子



## 卒業生 松本 亮大さんに聞く

松本 亮大さん

千歳市産業振興部主幹付主査(産業政策担当)

■2007年3月 千歳科学技術大学光科学部物質光科学科 卒業

## これまでの知識や経験を生かし ふるさと・千歳市のために。

### ● 本学の志望理由と在学中の思い出を教えてください。

当時の千歳科学技術大学は開学6年目の新しい大学で、最先端の技術を学ぶことに興味を持ちました。就職率が高いことも魅力で、しかも自宅が千歳市内で通学しやすかったことも理由でした。在学中、特に印象深いのは卒業研究です。テーマが決まらず悩んでいた時、たまたま声をかけてくれた先輩の研究室に所属。高分子の微粒子を合成する研究に取り組み、実験を重ねて求めていた結果が出た時は、先輩と一緒に喜びを分かち合いました。友達との楽しい思い出も多く、付き合いは今も続いています。

### ● 民間企業を経て市役所へ転職されたそうですね。

大学卒業時は、電子部品メーカーに技術職として就職しました。道内や首都圏で勤務し、いろいろ経験していく中で、大好きな千歳市に根を下ろしたい、地元で役立つ仕事をしたいという想いになりました。結婚して子育てのしやすさも考えるようになり、2014年に29歳で転職。納税課、企画課を経て、現在の産業振興部に配属されて2年目になります。市役所では配属される部署によって、転職と同じくらい業務内容が変わります。その部署でなければできない経験があり、自分の仕事が市民生活の安定や経済活動の振興の一助になっていることにやりがいを感じています。ちなみに千歳市は、市民の平均年齢が道内で一番若い活気のある街。生活環境や自然環境にも恵まれ、札幌までJRで約30分、空港が近く東京にもすぐに行けるなど、それぞれの希望に沿った暮らしができる魅力があると思います。

### ● 担当されている業務を教えてください。

産業振興部門で、特産品の振興や商業の活性化などの業務に当たっています。例えば、2022年10月に特産品をPRするイベントを新千歳空港内で初めて実施。コロナ禍の影響を受けている事業者の皆さんや空港を応援する事業として企画段階

から担当し、多くの方の協力を得て盛況のうちに終わることができました。ほかにも、コロナ対策としての給付金事業、市民生活と事業者を支援するための商品券事業などを担当。市街地の商店街の活性化なども課題で、いずれも周りの方の助けを受けながら取り組んでいます。経済対策的な事業は状況に応じて手を打つ必要があるため、日頃から新聞などをチェックして情報を把握できるようアンテナを張っています。主査としては2年目でまだまだですが、自分の業務だけではなく、もう少し広い視野で業務全体の管理なども行う立場になり、任される裁量が増え、自分の考えを業務に反映できる手応えも少しずつ感じています。

### ● 在学中に身につけたことで仕事に役立っているのは？

メーカー勤務時は製品の開発や改良のための試作などに、化学の知識や地道に取り組んだ卒業研究の経験を生かしました。現在は事務職のため文章を書く機会が多く、レポートや卒業論文の作成時に指導してもらった経験が役立っています。また、理系・文系と一概には言えないと思いますが、いわゆる理系的な物事を論理立てて考える力はどんな仕事でも必要とされます。実験や研究で培った論理的な考え方は、今も業務に生きています。

### ● 本学への想いや後輩へのメッセージをお願いします。

多様な分野の優秀な先生たちに教えていただけること、市内をはじめ様々な企業との結び付きが就職の強みになっていることが大学の大きな特色だと思います。産学官連携に力を入れており、在学中に貴重な経験ができるチャンスも多いはず。公立化で市と連携した取組が更に強化され、より地域に根付いた大学として発展していくことを期待しています。後輩の皆さんには、時間に余裕のある大学時代にいろいろなことチャレンジして欲しいです。その経験が将来、私のように転職した場合や社内で異動した時など、役立つ機会がきっとあると思います。

### 千歳市の特産品について

千歳市には、全国有数の水質を誇る支笏湖で育った「支笏湖チップ」や、不老長寿の果実とも呼ばれる「ハスカップ」、道内一の生産量を誇る「鶏卵」などの特産品があり、これらを使った様々な商品が製造されています。ふるさと納税の返礼品でもご用意していますので、是非一度お試しください。



支笏湖チップ



千歳市ふるさと納税HP

# 入試情報

## 2022年度オープンキャンパスへのご参加、ありがとうございました

2022年度のオープンキャンパスは、6月・8月・10月と計3回開催し、延べ1,132名の高校生や保護者の方々にご参加いただきました。新型コロナウイルス感染拡大を防止する観点から、6月開催のオープンキャンパスはZoomを活用したLive配信で実施し、8月・10月のオープンキャンパスでは感染対策を講じた上で、来場型で開催することができました。並行して、いつでも視聴可能なオンデマンド配信も行いました。多くの参加者と学生スタッフの協力により、オープンキャンパスが大いに盛り上がりました。ご協力いただきました学生の皆さんにも感謝を申し上げます。

今年度も従来とは異なる形での開催となりましたが、来場者アンケートでは「実際に訪れることでモチベーションの向上や雰囲気の良いさを感じることができた。」「この大学で学びたいという意思を固めることができた。」などの感想が寄せられました。

次年度のオープンキャンパスにつきましては、決定次第、ホームページ等でご案内いたします。



## 2023年度一般選抜入試日程

試験種別	出願期間(消印有効)	第1段階選抜結果の発表	試験日	合格発表	入学手続期間
前期日程	2023年 1月23日(月)9時 ～2月3日(金)17時 ※出願期間最終日の消印有効	—	2023年 2月25日(土)	2023年 3月6日(月)	2023年 3月7日(火)～3月15日(水)
公立大学 中期日程		2023年 2月17日(金) (注1)	2023年 3月8日(水)	2023年 3月21日(火)	2023年 3月22日(水)～3月27日(月)

注1 公立大学中期日程の志願者数が募集人員の12倍を超えた場合は、2段階選抜を実施することがあります。2段階選抜実施の有無は、2023年2月17日(金)に発表します。

## インターネット出願

一般選抜の出願は、すべて「インターネット出願」で受け付けます。「インターネット出願」では願書を取り寄せる必要がなく、入学検定料をクレジットカードやコンビニ、ATMでお支払いいただくことが可能です。  
(インターネット出願サイトから入力しただけでは、正式な出願とはなりません。入学検定料の支払い及び出願書類が本学で受理されて初めて正式な出願となります。)



## 株式会社カミノ様から、寄附をいただきました

株式会社カミノ(神野 幹士 代表取締役社長)様より、ご寄附をいただきました。

同社は千歳市の地元企業として、主に千歳周辺地域を中心に事務用機器等の販売を行うとともに、本学の売店を運営しています。

令和4年10月5日に、同社より神野社長が本学を訪れ、宮永喜一理事長・学長に寄附金が贈呈されました。この度のご厚意に、深く感謝申し上げます。



左から、国府田営業部次長、神野代表取締役社長(以上、株式会社カミノ様)、宮永理事長・学長、井手副理事長(以上、本学)

## 道央農業協同組合様から、お米を寄贈いただきました



(写真左:久保支店長、写真右:井手副理事長)



(写真左:井手副理事長、写真右:吉村代表)

道央農業協同組合様(代表理事組合長 今村 隆徳様)から、お米を寄贈いただきました。

令和4年10月25日、道央農業協同組合千歳支店久保 有司支店長が本学を訪れ、う米蔵300kgが井手 剛副理事長に手渡されました。寄贈いただいたお米は、本学の学生食堂を運営している北のマルシェ様(代表 吉村 奈月様)に提供し、学生食堂を利用する学生さんに食べていただいています。

## 奨学金の寄附に深く感謝を申し上げます

本学の教育活動、学生支援に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。ご寄附をいただきました皆様へ感謝の意を表し、ご芳名を掲載させていただきます(敬称略)。公表を希望されない寄附者様につきましては、「匿名希望〇名」という形で掲載させていただきます。今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に対し、多くの皆様からの深いご理解とご厚情を賜りますようお願いいたします。

ご寄附に関する詳細につきましては、  
本学ホームページをご覧ください。



寄附者ご芳名  
(2022年5月1日から2022年10月31日まで)

菅原 将輝	西浦 幸司	縣 智明	川添 陽子
守屋喜久江	長路 忠浩	久保 修二	小西 幸恵
平野 博久	古城 謙次	堀田 美香	佐藤 光行
堀野 良和	田名網孝介	堀野 一生	本間 智
塩見 和広	大井 満	ほか匿名希望の方19名	

敬称略



大学公式!

◀カーギー

本学のイベント情報や学内の様子、何気ないつぶやきなどジャンルを問わず、ゆるっと発信しています。ときどきミニ・カーギーが学外に飛び出し、学生の活動を紹介しています。

?カーギーとは?

オレンジのつなぎと、ゴーグルがチャームポイントのカーディガン・ウェルシュ・コーギー(性別はオス)。好奇心旺盛な中学1年生の男子、科技田(かぎた)ひかるの家に暮らす。ひかるとカーギーの一人と一匹で「カーギーズ」というユニットを組み、科学の疑問を探求すべく、毎回本学にやってくる。科学の知識に関しては、ひかるに教えてあげる事も多い。



Twitter



YouTube